

社団法人日本福祉車両未来研究会

【ニュース】 2015_01_19

後絶ため高速道路での逆走…37%で認知症「疑い」

高齢者による高速道路での逆走運転が後を絶たない。高速道路6社の調査結果によると、平成23年～25年に確認できた逆走運転は計541件で、うち370件(68%)は65歳以上の高齢者が運転。運転者の状態別では200件(37%)で認知症の疑いがあった。

国なども対策を本格化させている。国土交通省は平成27年度概算要求で初めて逆走防止対策の推進を明記したほか、高速各社と協力して、発生頻度の高い場所で優先的に大型の矢印路面標示やUターン防止用のラバーポールの新設などを進める。

平成21年の道交法改正で75歳以上の高齢者は、3年に1度の免許更新時に「講習予備検査」を受けなければならなくなった。

予備検査では、記憶力や判断力を判定され、レベルに応じた講習を実施。記憶力などの低下が指摘されても更新はできるが、1年以内に一定の違反歴がある場合は、専門医の診断書の提出が必要となる。認知症と診断されれば、免許が取り消される。

また、全国の警察では、高齢者の自主的な運転免許の返納を受け付けている。免許証を返納すると、代わりに身分証明書として使える「運転経歴証明書」が交付される。

〒460-0006

愛知県名古屋市中区葵1丁目27番3号

染木第2ビル4階403号室

社団法人日本福祉車両未来研究会

電話 052-937-2941

FAX 052-937-2940

Mail info@294mirai.com

<事務局 吉川 剛>

会員企業名

〒239-0842 横須賀市長沢6丁目30番4号

有限会社ヤマヨ久保田商会

電話 046(849)3210

FAX 046(849)7147